



ホームページ→ [ふるさと上越](#)

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当：上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114



金谷山にて 撮影 松本 栄規さん

「たより」No.257 目次	会員数と「ふるさと市場」販売報告	1
	「Jネット」の活動とお知らせ	
	サロン、勉強会 など	2
	同窓会・郷友会コーナー	4
	とれたて上越	
	上越の行事、話題など	4
	上越産品販売のお知らせ	7
	会員ひろば	
	会員の皆様からの投稿・寄稿	7
	鯉橋師匠高座予定、および	
	「Jネット」からのお知らせとお願い	8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在598名です。(本年度目標：600名)

(2) 「ふるさと市場」(11月)の販売状況

合計 69 件 ￥181,332

(前年同月 24 件 ￥80,900)



Jネットの活動とお知らせ

(1) Jネットサロンの報告と次回予定

- 東京サロンは毎月第2木曜日。次回の1月9日(木)は新年会となります。 次々回は2月13日(木)。

12月12日(木)のJネットサロンは、年末の忘年会を兼ねてからか、たくさんの女性陣の参加も得て、盛大に開催されました。女性陣が多い月は、おつまみも健康的な感じがするのは気のせいでしょうか。定番の雪中梅、スキー正宗、能鷹に加えて、上越の松本栄規さん寄贈の甕覗(かめのぞき)は、りっぱな甕に美味しい一升酒。柄杓で掬って手元のグラスへ。雅趣の一献です。

久方ぶりの小林さんは、新年会前の予行演習で忘年会にご参加とのこと、ありがとうございます。静岡三島から杉臣さん、遠くからありがとうございます、と言ったら、あなたの方が遠いですねと

返されました。入江さんのカレー発売成功を祈って全員で思い切り勝鬨を挙げ、今年最後は、田端御大による三本締め。鳴り響く手拍子にすべての悪霊も退散です。

2次会はいつもの「朱鷺」にて、鮎正宗をいただきました。美味しい日本酒で暮れてゆく年末、忙しさを忘れるひとときでした。来月は1月9日に新年会です。東京新潟県人会館仮事務所にしてお目にかかりましょう！



東京サロン

会場：東京新潟県人会館（台東区上野 1-15-10 大秀ビル 2 階）

最寄り駅は地下鉄千代田線「湯島」、JR山手線「御徒町」。会費 1,500 円。

(2) 第 17 回近畿サロン開催の報告

12月7日(土)、近畿サロンは、共生まちづくり課石曾根係長を迎えて、大阪駅近くの「ガーデンシテイクラブ大阪」にて開催された。参加者は10名とこじんまりながらもその分親しく交流し、充実した集まりとなりました。

Jネット活動や東京サロンへの参加希望、大阪駅地下街に出来た新潟県産品店「じょんのび」などに加えて、日常ではなかなかできない上越の話を思い切り繰り広げることができました。その上越賛歌のなか、席上2名のJネット入会もあり、大いに盛り上がりました。お土産は山本味噌新製品の雪室熟成味噌「ももとせ」。甘みもあり、ご飯に良し味噌汁に良しの逸品です。



(3) 新年会のお知らせ

東京サロンを兼ねて、新たに新年会を開催します。
開催要領は次の通りです。ぜひともご参加ください。

開催日： 令和2年1月9日（木）17：00－19：00

会場： 東京新潟県人会館 大会議室

（住所は、前記の東京サロン記事で参照）

会費： 2,000 円。 地酒、上越産品も多数出場予定。

お申込み：1月6日（月）までに、Jネット事務局まで。

電話 03－5244－5138 FAX 03－3294－6106 メール k.miyazato@araipt.co.jp



(4) 第45回勉強会の開催 石垣山一夜城と小田原城見学

秀吉が小田原攻めにあたり、長期戦の構えで、本陣を築いたのが石垣山一夜城。眼下には小田原城と相模湾が広がり、三浦半島、房総の山並みまで望める絶景です。詳細は、同封の案内をご参照ください。

日時：令和2年1月25日（土）雨天変更あり。

募集人数：20名 満員になり次第締め切ります

お申込み：1月20日（月）までに、Jネット事務局まで。

(5) Jネット令和2年度春の交流会の予定

令和2年高田城公園百万人観桜会は、4月1日－15日に開催されます。観桜会に合わせて、恒例のJネット春の交流会を次のように開催します。

春の交流会：令和2年4月12日（日）

13：00より

なかしま食堂にて開催

ふるさと訪問：同4月12日（日）－14日（火）

詳細は、「たより」1月25日号

（次号）をご参照ください。



(5) 東京新潟県人会新年祝賀会の開催。

恒例の東京新潟県人会新年祝賀会が、下記の通り開催されます。
今回も上越市より物産販売を出店、Jネット会員のボランティアが協力します。

買い物だけでもお寄りいただければ幸いです。

開催日： 令和2年1月25日（土）11：20－

会場： ホテル椿山荘東京

バンケット棟 グランドホール「椿」

会費： 10,000 円 お申込み：1月6日（月）までに、Jネット事務局まで。



made in
JOETSU

特産品
Specialty goods >

同窓会・郷友会コーナー

「たより」発行日から2ヶ月以内に開催する会をご案内します。Jネット事務局まで情報をお寄せください。

(1) 東京六華会「第46回総会」の報告

12月5日（木）、アルカディア市ヶ谷私学会館にて開催。上越からも上越市スポーツ協会上村晶夫理事、高田高校太田雄一先生、それに順天堂大伊藤史哉選手を迎えて、参加者は約40名。

東京六華会は、1974年、高田中学OBで結成、その後同高OBも加わり、毎年、高田高校や上越市、妙高市のスポーツ選手にメダルを贈呈し、応援と激励をしてきた。現在の会員数は200名弱。会員は、健康維持と親睦を兼ねたスキー会や旅行の恒例行事も楽しんでいる。

席上、吉越会長は、「樫野前会長の発案で、会員の範囲を首都圏在住者から広げたため、かなり会員数は増加した。これからもふるさとのスポーツ振興に寄与していきたい」とご挨拶、会場はスポーツを愛する会員で元気いっぱい、大盛り上がりとなった。



東京六華会令和元年度第46回総会 於 アルカディア市ヶ谷 2019.12.5

とれたて上越

(1) 上越の行事と話題

① レルヒ祭

2020年2月1日（土）～2日（日）。日本スキー発祥の地、金谷山を会場に、レルヒ少佐の遺徳を顕彰するレルヒ祭。当時の様子を再現した一本杖スキーの実演など、さまざまなイベントがあります。

② 灯の回廊

2020年2月22日（土）17時～21時。安塚区、大島区、浦川原区、牧区、岩の原葡萄園、高士地区多目的研修センター、名立区不動地域。総延長約60キロの沿道を10万本ものキャンドルの灯と雪像が、幻想的で温かな雪の世界を演出します。会場の各地域では子どもからお年寄りまで、住民総出で想いを込めて作り上げます。

ご照会先：上越市観光振興課 025-526-5111 内1246。

あるいはネットにて「灯の回廊」を検索し、各区の照会先に直接ご連絡ください。



③ 県立武道館「謙信公武道館」が開館。

12月1日、上越市戸野目の上越総合運動公園内に、新潟県立「謙信公武道館」がオープン。柔剣道や空手の大道場や小道場、弓道場、相撲場、研修室などを完備、トレーニングマシンも最新のものです。北信越地域で最大規模でトップレベル。

同館は、平成22年から上越地域武道団体が中心となり署名を集め、市民の悲願として誘致建設に至った。開館にあたり、シドニー五輪柔道100kg超銀メダリストの篠原信一氏によるトークショーや県内武道12団体による演技が行われた。予約は、同会館公式HPから行うことができる。

④ 上信越道が完全4車線化。

12月5日、上信越道の信濃町ICと上越JCT間35.5kmの4車線化が完成。群馬・藤岡JCTからの200km強の上信越道につき、全線が4車線にて通行できることとなった。夏の帰省や行楽の混雑緩和や降雪時の交通確保に大きく寄与するほか、上越市、中でも、直江津港や工場地帯の物流事情の改善も期待されている。



⑤ 上越高生、弁論で全国優勝



7月28・29日、佐賀県で開催された全国高校総合文化祭において、弁論部門で、新潟県代表の宮澤崇紘君（上越高3年生）は、「町づくりの第一歩」というタイトルで登壇、見事、最優秀賞・文部科学大臣賞の栄誉に輝きました。

上越妙高駅の活性化をテーマに、上越高校生が実行した「ゆかた祭り」の経験から、他人任せではなく自分たちが動くこと、そして、「ゼロに小さなイチを足していく」のがまちづくりの第一歩と主張しました。「高校生が地域のために活動すれば、地域に元気が生まれる」とは、なんと勇気づけられる言葉ではありませんか。ふるさとを担う、頼もしい若手です。

(2) なんでも上越 奥深い上越の世界を紹介します。

今回は、「ネット特別賛助会員の魚住かまぼこ店様からのご寄稿と、たより10月10日号掲載の「高田公園の桜」その②をお届けします。

①「宝物・魚住」の再生、復活を

口福の店 魚住かまぼこ店 店主 田村 博

6年前。我々は、立ち上がりました。港町・直江津唯一軒のかまぼこ屋を無くしてはならない…と。

当時、創業者であり、初代社長の魚住利雄氏は、すでに85歳。跡取りもなく、大きな借金も。加えて工場や機械も古く、もう使えない。瀕死の魚住は、「廃業」の道しか残されていませんでした。でも、一度無くしたら、もう二度と復活はできない。

「魚住を守ろう!!」。魚住と同じ町内にあり、その重要性・貴重性を知っていた「一般財団法人上越市環境衛生公社」が、立ち上がりました。「のれん代」と称して、多額の借金も、古い工場・機械も、丸ごと引き継ぎました。

今でいう「事業承継＝継業」であります。大きな借金などもあるため、誰一人、社長のなり手が無い中、私が代表取締役を引き受け、新生魚住がスタートしました。平成26年4月1日のことです。

「素人に何ができる」「持って半年。1年は絶対に持たないさ」。陰口が飛び交いました。しかし、「魚住の灯を消すな」「魚住を守ろう」という、多くの人々に支えられ、劇的な復活、再生の道を歩み始めました。そして、平成30年4月、魚住は、親会社である上越市環境衛生公社と、念願の「経営統合＝一体化」を果たしました。これにより、私は、社長から「店主」に。まさに、春到来です。4年間の筆舌に尽くし難い苦労は、まずは報われました。

継業から6年目。一体化から2年目。令和に入り、魚住は、着実に確実に、真の復活・再生への道を歩み続けています。全ては、皆さんのお陰です。売り上げは、倍増。ファンクラブの会員は、北海道から九州まで1万7千人余り。長野県や群馬県などからの、観光バスの立ち寄りもすばらしく、多い時は1日に3～4台が訪れます。

メイド・イン上越の認証や、ユニークな新商品の発売も相次いでいます。令和2年夏までには、電子レンジで“チン”して『飲む』かまぼこや、上越の食文化を代表する『サメ』入りかまぼこ。そして、上杉謙信公が貴重な財源とした『青芦』入りかまぼこなども、次々と発売の予定であります。

全国津々浦々、大量生産・自動生産が可能なカッターという便利な機械が花盛りの今日。そのような機械を全く導入せず、『「完全」石臼ねり』にこだわる魚住。この完全石臼ねりこそ、余分な摩擦熱を生まず、時間をかけて丁寧にじっくりとねり上げる、まさに、理想的な工法といえます。絶品と賞賛される魚住かまぼこの「うまさ」と「品質」の原点は、まさにここに 있습니다。ただ、この工法のかまぼこは、大量生産ができないため、大幅な値引きができません。このため、ややもすると「安さ」が優先

されてしまうスーパーや量販店には、なかなか置いてもらえず、苦しい闘いは今も続いています。

しかし、堅き信念と熱き思いを変えることなく、「完全石臼ねり」、「うまさと品質」第一主義を貫き通したいと思っています。近い将来、「日本の宝物」ともなるであろう掛け替えのない魚住を、どんなことがあっても守り抜き、発展させていく覚悟です。

ご支援・ご協力を、切に切に、お願いいたします。



「魚住メイド・イン上越商品」



ファンクラブ交流会

② 高田公園の桜（その2）

樹木医 相澤 紀 春日山在住

高田公園の桜は、昭和の時代に度重なる豪雪に見舞われ、そのたびに桜は大きなダメージを受けて来ました。そのことは、今の桜の姿によく現れています。幹や太枝の雪折れによる傷口から腐朽が進み、空洞化した桜が多く見られ、なかには皮一枚で花を咲かせる根性桜も数本見受けられます。

「桜きる馬鹿、梅きらぬ馬鹿」という言葉がありますが、桜は切り口から腐朽菌が入りやすく、適切な切除が必要なことを戒めた言葉です。雪折れで腐朽し、弱った桜の樹勢回復を図ることに加えて、健全度を高めるための保育管理を進めることが必要です。

このため上越市では、平成26年に作成した長寿命化計画に基づいて、公園内の2600本の桜を一本毎に現状を調べカルテを作成し、その状態に応じた育成管理を進めています。平成30年度には毎月、桜守と樹木医集団による巡回観察を行い、その結果に応じた育成管理を進めてきました。具体的には、枯れ枝や不適切に切断された枝の切り戻し、腐朽箇所の除去、土壌改良を主体に、緊急度の高い桜から実行しています。今後も桜守による日常の育成管理に加え、市民ボランティアで組織された桜プロジェクトによる「百年後も元気な桜をめざして守り育てる活動」が、行政と一体となって進められていきます。これらの取り組みによって、桜がいつまでも「高田城百万人観桜会」の主役として、高田の春を彩ってくれると確信しています。



(3) 上越のDNA 上越にゆかりのある方を紹介するコーナーです。

石橋由紀子 山武グリーンカントリー倶楽部 前会長

「母は、生ききりました」。お別れの会での長男の挨拶である。母とは、石橋由紀子。本年5月逝去。享年74才。高田出身（実家は直江津にて会社経営）。Jネット会員。

14歳頃から腎臓を病み、病院で受験した高田高校に入学するも治療のため退学、爾来、50以上の病気を抱え、移植を含む闘病の人生だった。早くに夫を亡くし、息子2人を抱え、生活のためにゴルフ関係の仕事に従事、その後、立ち往生していた千葉のゴルフ場開発を引き受けて見事、開場に成功する。さらに、成田近くのゴルフ場も入手し2つのゴルフ場のオーナーともなった。彼女のおかげで、高田高校同窓コンペは、毎年、その2つのゴルフ場で開催、今年で25回目となった。

故郷上越や糸魚川への数々の寄付は言うに及ばず、自分が病んだ腎臓病の患者を減らすべく、多額な私財（かなり費消されたが現在も20数億円）を投じ、公益財団法人「石橋由紀子記念基金」（代表理事 庄山悦彦氏）を設立。毎年、腎臓病研究に突出した助成金支援を続けており、厚労省や医学界からも注目されている。

交遊の広さも半端ではない。高校先輩の佐久間、庄山両財界首脳から日本郵政西川初代社長はじめ、広く、政財界、法曹界、医学分野やゴルフ・相撲界にまで至る。

型破りのエネルギーと気配り。このすごいパワーは一体、どこからくるのか。生前、彼女の口から出たのは「小学校恩師O先生のおかげ」という言葉だった。運命を受け入れ、何事も恐れず、理不尽なことは許さない—それが、困難に立ち向かう彼女を支えたという。重病を背負い、絶えず死の恐怖を抱えながらもチャレンジし続けた彼女のそうした生き方は、どれだけ多くの人を勇気づけてきたか、計りしれない。同じ上越人として高く誇りに思う。

彼女のご長男は東大医学部を卒業し、現在は日赤医療センター部長、その御子息も東大医学部在学中。ご次男もソルボンヌ大でフランス中世文学を研究、博士号を取得するなど、お二人とも広く社会で活躍されている。彼女は去ったが、社会のために尽くしてきた彼女のDNAは、しっかりと受け継がれている。

（伊藤 利彦 記）



上越産品販売のお知らせ

●大好評の「取次販売商品一覧表」は、今月はお休みです。次号には商品模様替えて再登場します。どうぞお楽しみに。

●「新潟・上越妙高

うまさ直送！雪国マルシェ」。

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、有楽町交通会館1Fで次の日程にて、開催されます。開店時間は、いずれも11:30-17:30。
・開催日 1月25日(土)、同26日(日)。

上越直送！甘みの増したみずみずしい「雪下大根」はおでんにぴったり。今が旬！食べる「ほおずき」もビタミン豊富。ごはんのお供も多数用意。寒い季節におすすめです。

☆次回：令和2年2月22日(土)、23日(日)

●上越産品のギャラリーショップのお知らせ。

交通会館4FのJCV東京情報センターでは、「ギャラリーショップ」を開店しています。上越妙高の産品を販売する会員限定ショップです。

・営業時間：月～金曜日
午前11時～午後5時
(祝日、年末年始等を除きます)

スタッフおすすめの岩の原葡萄園のワイン各種を取り揃え。

鮮やかな色合いの「ロゼ」は華やかな香りと爽やかな酸味が調和したキリッとした味わいが特徴。おなじみの「かんずり」から小包装タイプ(15袋入)を入荷致しました。



「雪国マルシェ」「ギャラリーショップ」お問い合わせ先 JCV東京情報センター (TEL 03 (5218) 7730) まで

会員ひろば

会員の皆様の投稿寄稿のコーナーです。ぜひともお声をお寄せください。

年男の妄想

田端 宗壽

7回目の亥年を迎えた、ともかく目出度いと年頭の大宴会で祝福を受け、スッカリ舞い揚り強運、幸運ありと固く信じ「宝くじ」まで買う事も考えた位だ。

然し現実には甘くない、月並みな言葉だが「坂道を転がる石」の様な毎日が始まった。

二月に前立腺ガン発見の診断で入院した。二度に渉る切開手術、ホルモン療法を経て退院、ホッと一息ついて始めた晩酌の盃の乾く間もなく、肝臓に三ヶ所の異常ありとの検査結果で再入院が余儀なくされた。

ラジオ波、カテーテル手術で二ヶ所は無事終了、残った部分は体力の回復を待ち六月中旬に予定されていた。

六月初旬、豪雨の中家人の制止を振り切り外出、転倒、膝蓋骨骨折で再入院、肝臓どころではなくなり……。あまりの事にベッドの上で思わず泣き笑いをした程だ。

手術のたびに何が起こっても文句ありませんと云う誓約書を何枚も書いた。

現在はリハビリも順調に進み、あとは軽い肝臓と胃の手術入院で終了です。と宣言された。

入院中大切な知人、永い付き合いの友人を失った。改めて判ったことは、健康でいるのは本当に偶然で運の良い事だと知った。

来年は八十五才、大切に生きたい気持ちと、「矢でも鉄砲でも持って来い」と開き直っていてもいる。



瀧川鯉橋 師匠 ◎出演予定◎

お問合せは、rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp、TEL & FAX : 03-3845-1202(鯉橋)、および各会場まで。鯉橋ブログ「七転び八起きの末のホンダラダ」でも出演予定掲載中。

令和2年

◇1/17(金)しのぶ亭落語会「七人の侍」

時 間: 午後2時～4時半

木戸銭: 1500円

出 演: 円福、枝太郎、鯉橋、小助六、鳳志、貞寿

会 場: 根津・しのばす「しのぶ亭」(根津駅より徒歩2・3分)

◇1/18(土)鎌倉市・宝善院「初護摩落語会」

時 間: 午後1時～1時50分 木戸無料

出 演: 昇乃進、鯉橋

会 場: 宝善院(鎌倉市腰越5丁目)

◇1/19(日)鯉橋ひとり会～鯉のつなわたり・その15～

時 間: 午後5時半～7時半

木戸銭: 2000円(前売・予約1800円)

出 演: 鯉橋「ねずみ」ほかに短めの演目2席

ゲスト: 林家楽一(紙切り)

会 場: お江戸日本橋亭(地下鉄・三越前)

お問合せ・ご予約: rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp

(鯉橋メールアドレス) または 090-4730-9032(鯉橋)まで。

◇1/20(月)グリーンホール八起寄席

時 間: 午後6時半～8時45分頃

木戸銭: 1800円(各種割引有り)

出 演: 談修、鯉橋、兼好、文菊

会 場: グリーンホール相模大野

お問合せ: 042-749-2200(グリーンホール相模大野)

◇1/21(火)～25(土)仙台「花座」での公演。

午前の部: 午前11時～午後1時頃

午後の部: 午後2時～午後4時頃(金曜は時間変更の予定)

木戸銭: 2000円(65才以上1500円)

出 演: 鯉橋、

会 場: 花座(地下鉄・勾当台駅から徒歩約5分)

お問合せ: 022-796-0873(花座)

◇1/26(日)和(なごみ)らくごライブ

時 間: 午後2時～4時頃

木戸銭: 2000円(ワンドリンクおつまみ付)

出 演: 瀧川鯉橋、昔昔亭桃之助

会 場: 旬鮮市場「和(なごみ)」(船橋市習志野台3-17-17。最寄り駅・北習志野) お問合せ: 047-464-4707(なごみ)

◇2/1(土)梶原・いろは亭

時 間: 午後1時半～4時頃

木戸銭: 2300円(チラシ割引あり) 出演: 鯉橋、ほか出演者未定。

お問合せ: 03-6322-1622(いろは亭)

◇2/9(日)長瀬での落語会、午後1時半～3時半頃。

◇2/24(月・祝)上板橋の喫茶「ひとやすみポン」での落語会

午後4 時～5時半頃、1000円。

◇3/26(木)お江戸日本橋亭にて「鯉橋の会」

午後6時～8時半。2000円。

=====

3/8(日)池袋演芸場・特別企画

「上越から、寄席の鯉橋を見に行くよ」(仮題)

時 間: 午前10時～11時半

木戸銭: 1500円(関東圏から参加の方、定員60名になり次第メ切り)

※終演後、徒歩圏内の会場にて、鯉橋とランチ懇親会あり。別途

4000円位、参加は自由。

出 演: 鯉橋(二席)、ゲスト色物(落語以外の演芸。出演者未定)

会 場: 池袋演芸場(池袋西口、徒歩約3分。03-3971-4545)

お問合せ・ご予約: rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp(鯉橋メール)

または、090-4730-9032(鯉橋)まで。

※別枠で、上越から約30名が来場予定です。

=====

皆さまのお越しをお待ちしております!



●●●●●●●●●●●●●●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●●●●●●●

1. 月刊上越が休刊となりました。

月刊上越は、前号同封の12月号をもって休刊となりました。

Jネットは代わるものとして、上越の今を知る「上越タイムス電子版」をお届けすべく、関係各位と協議しております。令和2年4月のJネットHP改訂に伴い、会員様専用にてご覧いただけます。

2. 1月1日の広報は休刊です。(封入はありません)

3. 2020年Jネットカレンダーが好評です。

前号「たより」に同封しましたが、好評につき残部は数十部しかありません。

お早めにお求めください。 1部500円。

4. Jネット新年会を1月9日に行います。

詳細は、本「たより」P.3をご覧ください。



次号「たより」1月号は、1月25日の発行です。